

2 個別労働紛争のあっせん

(1) 概況

個々の労働者と事業主との間の労働関係に関する紛争について、当事者の申請に基づいてあっせんを行っている。

令和4年度は、新規申請が4件で、全て労働者からの申請であった。

取り扱った5件の全てが終結した。その内訳は、解決4件、不参加1件であった。

第1表 取扱件数

年度	区分	前年度 繰越	新規申請			合計	処理状況	
			労働者	使用者	計		終結	繰越
2年度			2		2	2		
3年度			2		2	1	1	
4年度		1	4		4	5		
計		1	8		8	8	1	

第2表 申請内容内訳（新規申請分）

区分	年度	2年度		3年度		4年度		合計	
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
解雇・退職強要・雇止め		1	33.3%			1	20.0%	2	13.3%
配置転換、出向・転籍				1	14.3%			1	6.7%
復職									
懲戒処分				1	14.3%	1	20.0%	2	13.3%
退職						1	20.0%	1	6.7%
勤務延長、再雇用									
その他経営又は人事				1	14.3%	1	20.0%	2	13.3%
賃金未払				1	14.3%			1	6.7%
賃金増額									
賃金減額				1	14.3%			1	6.7%
一時金									
退職一時金									
解雇手当									
休業手当									
諸手当									
その他賃金									
年金(企業年金・厚生年金等)									
労働契約									
労働時間				1	14.3%			1	6.7%
休日・休暇									
年次有給休暇									
育児休業・介護休業									
時間外労働									
安全・衛生									
福利厚生制度									
社会保険									
労働保険									
その他の労働条件等									
セクハラ									
パワハラ・嫌がらせ		2	66.7%			1	20.0%	3	20.0%
その他				1	14.3%			1	6.7%
計		3	-	7	-	5	-	15	-

(注) 1件の申請で複数の区分に該当する場合、それぞれの区分に計上しており、第1表の新規申請の件数の計とは一致しない。

第3表 終結処理区分

区分	年度	2年度		3年度		4年度		合計	
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
終結	不開始								
	不参加			1	100.0%	1	20.0%	2	25.0%
	打切								
	取下								
	解決	2	100.0%			4	80.0%	6	75.0%
	合計	2	—	1	—	5	—	8	—
翌年度繰越			—	1	—		—		—

(2) 取扱事件一覧

(前年度からの繰越)

事件番号 (業種)	受付日 (申請区分)	申請事項	事件の概要	あっせん 期日	あっせん員		
					公	労	使
4(個) 271号 (卸売業・小売業)	4.3.2 (労)	業務内容等の変更の撤回、未払賃金の請求等	持病を理由とした業務内容等の変更になれないとして、その撤回と時間外労働及び休憩が取れないことへの賃金相当額の支払等を求めてあっせん申請があった。 2回のあっせんを行った結果、雇用契約を終了し、相手方が解決金を支払う旨のあっせん案に双方が合意したため、解決に至った。	4.3.22	高林	池澤	三宮
	解決			4.4.15 (45日)			

(新規受付)

事件番号 (業種)	受付日 (申請区分)	申請事項	事件の概要	あっせん 期日	あっせん員		
					公	労	使
4(個) 272号 (生活関連サービス業・娯楽業)	4.7.22 (労)	懲戒処分の撤回	正当な理由がないのに降格の懲戒処分を受けたとして、その撤回を求めてあっせん申請があった。 あっせんを行った結果、降格処分を変更して、申請者が自己都合退職をし、相手方が解決金を支払う旨のあっせん案に双方が合意したため、解決に至った。	4.8.28	参田	山岡	沖田
	解決			4.8.28 (38日)			
4(個) 273号 (製造業)	4.11.1 (労)	退職後の収入補償	社内でのセクハラを原因とする休職から復帰後の会社の対応に、納得がいかに退職したことで収入を得られなくなったとして、その補償を求めてあっせん申請があった。 あっせんを行った結果、相手方が解決金を支払う旨のあっせん案に双方が合意したため、解決に至った。	4.12.5	藤原	池澤	三宮
	解決			4.12.5 (35日)			
4(個) 274号 (学術研究・専門・技術サービス業)	4.11.24 (労)	退職強要及びその手段としてのパワハラの中止の要求	社内でのトラブルが原因で退職強要を受けているとして、退職強要及びその手段としてのパワハラの中止を求めてあっせん申請があった。 2回のあっせんを行った結果、申請者が退職勧奨により退職し、相手方が解決金を支払う旨のあっせん案に双方が合意したため、解決に至った。	4.12.26	川田	筒井	加藤
	解決			5.1.19 (57日)			
4(個) 275号 (製造業)	4.12.28 (労)	解雇撤回に伴う復職に伴う職場環境の整備等	事業主による解雇撤回に伴う復職条件について折り合わずに復職ができないとして、復職に当たっての職場環境の整備等を求めてあっせん申請があった。 事務局調査の結果、相手方があっせんに応じなかったため、あっせんを打ち切った。		参田	市川	片山
	打切			5.2.20 (55日)			

(注) 1 事件番号は、暦年+通し番号
2 処理日数は、受付日から終結日までの日数

(3) 申請件数の推移

